

- データ更新・整備及び提供に係る課題を検証することを目的とし、パイロットマップを作成する
- 対象地域は、スマート東京の先行5地区から、都心部、西新宿、ベイエリアを対象として検証要件に合う箇所をピックアップする
※具体的な対象エリア（街区等）は選定検討中

		都心部（大丸有）	西新宿	ベイエリア（豊洲・竹芝）
地理的特徴		<ul style="list-style-type: none"> ・ 超高層建築物におけるBIMが豊富 ・ オープンスペースが豊富 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地の高度利用の歴史が古い ・ 交通網・地下空間が充実 ・ スマートポール設置・5G網早期構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水辺などの空間的広がり ・ 職住融合エリア ・ 土地利用変動が質・量共に大きい
想定ユースケース		<ul style="list-style-type: none"> ・ エリアマネジメント ・ BIMを活用した屋内ユースケース ・ ビッグデータを活用した都市活動の見える化 ・ 人中心のまちづくりへの活用、ウォークアブルな空間での人とモビリティの共存 ・ 路面のライティングによるフレキシブルなゾーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市づくり政策のEBPM実現 ・ ビッグデータを活用した歩行者移動分析実証 ・ 三密回避・効率的な移動を可能とするルート案内、人流解析 ・ センシング・気象データを活用した快適な屋外ワークスペースの情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浸水シミュレーション ・ エリアマネジメント、民間事業者によるデジタルツインプロジェクトとの連携 ・ 都市OS：観光・モビリティ・イート・ヘルスケア・防災などの横断的サービス実装 ・ 舟運MaaS八幡化、回遊モビリティ ・ エネルギーなどシミュレーション
パイロットマップによる検証内容（案） ※実データ利用・関係者ヒアリング等により検討・検証				
データ仕様の検証	建物（屋外）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 点群/メッシュ・外形・屋根/壁・付属物・テクスチャ等のバリエーションを公共・民間の既存データで比較し、ユースケースへの活用可能性を検証 		
	屋内・地下空間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物モデルとBIMの融合検証 ・ エリアマネジメント（帰宅困難者避難支援）で利用する地下・地上のシームレス化検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地下空間の点群・ベクトル化等のバリエーションで活用可能性検証 	—
	道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地下通路の精度・表現方法を検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人流解析で利用するレベルの通路データの精度・表現方法を検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共所有データの自動運転地図への活用可能性検証
	属性、ほか	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画基礎調査項目を属性として持たせる方法・仕様について検証 	—
法的観点での検証	個人情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビルや通路でのデータ取得時の通行人等の写り込みにかかる対応を検証 ・ 地下空間のデータ取得時の個人情報除去に関する手順を検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地下空間のデータ取得時の個人情報除去に関する手順を検証 ・ 都市計画基礎調査データのオープン化・利活用における属性の取扱いで手順を検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅のテクスチャの取扱いを検証
	ライセンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ BIMやその他の調達データの利用ライセンスの検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地下空間やその他調達データの利用ライセンスの検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間事業者デジタルツインプロジェクト成果の二次利用可能性について検証
	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ BIMの開示可能範囲の検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地下空間データの開示可能範囲の検証 	—
運用検証	データ更新	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物、BIM、地下空間のデータの必要更新サイクル、更新可能性を検証 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動運転地図の更新サイクルを満たす素材データの可能性の検証
	データ形式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調達データ、BIM、地下空間等の各種データの入手した際のデータ形式、提供時のデータ形式を検証 		
	オープンデータ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成したデータをオープン化することが可能かどうか、手順や手続きを検証 		